

## 1. 教育：教育再生の実現

令和3年10月 自由民主党政務調査会 文部科学部会まとめ

※特別な表記が無い場合は、平成30年度→令和3年度の変化

### (1) 世界トップレベルの学力の実現

特に理数分野は、OECD加盟国37カ国内で、  
数学的リテラシー：1位、科学的リテラシー：2位

(PISA2018結果より)

### (2) 教育の無償化・負担軽減

#### (幼児教育・保育の無償化)

3歳から5歳までの全ての子供(約294万人)の幼稚園、保育所、認定こども園の利用料を無償化。0歳から2歳までについては、住民税非課税世帯の子供(約66万人)利用料を無償化。(令和元年10月から)

#### (高等学校教育の負担軽減)

- ・私立高校授業料の実質無償化(令和2年度)
- ・高校生等奨学給付金の充実(平成29年度→令和3年度)  
給付額：国公立高校 +34,300円(75,800円→110,100円)  
私立高校 +45,600円(84,000円→129,600円)

#### (高等教育の無償化)

- ・高等教育の修学支援新制度の開始(令和2年度)
- ・令和3年度当初予算：50.4万人 5,208億円  
非課税世帯の進学率(推計)(平成30年度→令和2年度)  
約40%→約48~51%

### (3) 学校指導体制の充実、学校の働き方改革

#### (教員配置の充実)

- ・小学校における35人学級の計画的な整備 +744人(令和3年度)
- ・働き方改革等を進める加配定数改善 +3,831人
- ・通級指導等の基礎定数改善 +1,343人

#### (チーム学校を支える多様な支援スタッフの配置充実) ※予算ベース

- ・学習指導員 +3,300人(7,700人→11,000人)
- ・部活動指導員 +6,300人(4,500人→10,800人)
- ・スクール・サポート・スタッフ +6,600人(3,000人→9,600人)
- ・スクールカウンセラー +800箇所(26,700箇所→27,500箇所)
- ・スクールソーシャルワーカー +2,500人(7,500人→10,000人)

### (4) GIGAスクール構想の推進

- ・義務教育段階の児童生徒(約900万人)1人1台端末環境等を整備(令和元年度及び令和2年度補正予算で計4,819億円を計上)
- ・「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」に基づき、平成30年度から令和4年度までの単年度1,805億円を地方財政措置

### (5) 学校施設の耐震化、空調設置

- ・公立小中学校(約114,410棟)の耐震化率 98.8%→99.6%
- ・私立学校(幼～高)の耐震化率 90.3%→約93%(速報値)
- ・公立小中学校等の空調設置率  
52.2%(平成29年度)→93.0%(令和2年度)(普通教室)

### (6) 高等教育機関における職業教育の充実

- ・専門職大学・専門職短期大学・専門職学科の創設(平成31年度)  
専門職大学14校、専門職短期大学3校、専門職学科1校1学科開学
- ・大学の職業実践力育成プログラム +95課程(219課程→314課程)

#### (専修学校における職業教育に関する認定の充実)

- ・職業実践専門課程の拡大  
954校2,885学科(平成29年度)→1,070校3,149学科(令和2年度)
- ・専修学校におけるキャリア形成促進プログラムの創設(平成30年度)  
14校、18課程(令和2年度)

### (7) 大学改革の推進

#### (国立大学の機能強化)

- ・世界最高水準の教育研究活動の展開を目指し資産運用等の規制を緩和する指定国立大学法人(5法人→9法人)  
※東北大学、東京大学、京都大学、東京工業大学、名古屋大学、大阪大学、一橋大学、筑波大学、東京医科歯科大学
- ・一法人複数大学制度の創設(令和元年)  
※東海国立大学機構(名古屋大学、岐阜大学)、今後2法人設立予定

#### (10兆円規模の大学ファンドの創設)

- ・世界と伍する研究大学の実現に向けた大学ファンドを創設  
10兆円規模に向け、4.5兆円を確保。大学と大学院博士課程を支援。

## 2. 科学技術：科学技術イノベーションの活性化

### (1) 世界的な研究成果

- 平成30年 ノーベル生理学・医学賞(本庶佑氏)
- 令和元年 ノーベル化学賞(吉野彰氏)
- 令和3年 ノーベル物理学賞(真鍋淑郎氏)

### (2) 若手研究者への研究支援の強化

- ・科研費の全採択件数に占める若手研究者の採択率の上昇(平成29年度36%→令和2年度40%)
- ・博士後期課程学生に対する経済的支援の抜本的な拡充(約7,500人(令和2年度)→約15,000人(令和3年度))

### (3) 産学連携の進展

- ・民間企業との共同研究実施件数・共同研究 受入額(過去最高) 25,451件・608億円(平成29年度)→29,282件・797億円(令和元年度)
- ・大学発特許のライセンス等件数(過去最高) 15,798件(平成29年度)→18,784件(令和元年度)

### (4) 戦略的な研究開発、国家基幹技術の推進

- (スーパーコンピューター)
  - ・スーパーコンピュータ「富岳」がスパコンランキングで3期連続4部門世界1位
- (宇宙開発)
  - ・基幹ロケット(H-IIA/Bロケット、イプシロンロケット)の51機連続打上げ成功
  - ・国際宇宙探査「アルテミス計画」への参画決定や国際宇宙ステーション計画への参画(「こうのとり」全9号機ミッション成功、日本人宇宙飛行士の活躍等)
  - ・小惑星探査機「はやぶさ2」の地球帰還、分離カプセルの回収(令和2年度)
- (原子力)
  - ・原子力人材の減少に歯止めをかけるべく、人材育成機能の維持・強化を図るため、複数の大学等が連携したコンソーシアムを構築(令和2年度)
- (海洋開発)
  - ・砕氷能力を有した北極域での調査・観測を可能とする「北極域研究船」の建造を開始(令和3年度)
- (感染症研究)
  - ・長崎大学に世界最高水準の感染症研究拠点(BSL4)が完成(令和3年)

## 3. スポーツ：スポーツ立国の実現

### (1) 東京オリ・パラ大会における日本選手の活躍

#### (東京オリンピック競技大会)

- ・金メダル数(27個)、総メダル数(58個)(ともに過去最高)
- 入賞(4位~8位)も大幅増(近年50前後→今回78)(過去最高)

#### (東京パラリンピック競技大会)

- ・過去最多だったアテネ大会の52個に次ぐ、51個のメダルを獲得
- 入賞も大幅増(近年70前後→今回107)(過去最高)

### (2) 大規模国際競技大会の誘致・開催

- ・ラグビーワールドカップ2019等の大規模国際競技大会を開催
- ・世界水泳選手権大会(福岡県)、ワールドマスターズ関西(関西圏)、アジア競技大会(愛知県)等の大規模国際競技大会の招致も成功

### (3) スポーツ実施率の向上

- ・成人の週1日のスポーツ実施率(過去最高) 42.5%(平成28年度)→59.9%(令和2年度)

## 4. 文化：文化芸術立国の実現

### (1) 文化プログラムの推進

- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、日本博(約910件)、東京2020文化オリンピック(約5,600件)、beyond2020プログラム(約19,300件)を採択・認証し、全国各地において文化プログラムを積極的に展開。(件数は令和3年8月末時点)

### (2) 世界遺産・無形文化遺産・日本遺産の認定

#### (世界遺産)

- ・長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産(平成30年度)
- ・百舌鳥・古市古墳群(令和元年度)
- ・北海道・北東北の縄文遺跡群(令和3年度)

#### (ユネスコ無形文化遺産)

- ・来訪神：仮面・仮装の神々(平成30年度)
- ・伝統建築工匠の技：木造建築物を受け継ぐための伝統技術(令和2年度)

#### (日本遺産)

- ・平成27年度の創設以降、全国で104件を認定(~令和2年度)